



NPO 法人 みちのくグリーンサムクラブ

- ・日 時：5月、**6月**、7月、9月、10月、11月、12月の全7回、**第3土曜日** 10:00～ 雨天決行
- ・会 場：せんだい農業園芸センター（仙台市若林区荒井字切新田 13-1）
- ・参加費：各回¥2,500（材料費・昼食代など含む）
- ・お申込：詳細・申込は裏面をご覧ください。

《2019年度 “第14回”『里山遊学塾』年間スケジュール》

※会場は**5月～7月までは市民農園**、9月～12月までは農業園芸センター管理研修棟内研修室で開催します。

月/日	講 座 / 講 師	内 容
5/18	クラフト手提げ袋 / 富士原	新聞紙や広告紙など不要になった紙でオリジナル手提げ袋をつくります。
6/15	コラージュ(貼り付け) / 加藤	コラージュとはフランス語で“貼り付け”を意味します。いろいろな紙や木の葉、布、針金などを貼り付けて絵をつくります。
7/20	草で遊ぶ / 鹿野	野原の葉っぱで“バッタ”づくりに挑戦！
9/21	自然材で人形づくり / 鹿野	木片や小枝で表情豊かな、かわいい人や動物をつくります。
10/19	ツルで編む鉢飾り / 佐藤（順）	ツルで鉢植え植物を飾る鉢飾りをつくります。インテリアに最適！
11/16	稲ワラでスワッグ(壁飾り) / 真壁	稲ワラで素朴な壁飾りをつくります。
12/21	リース&正月飾り / 大久	ツルや葉でクリスマスリースやお正月飾りをつくります。

※内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

【6月15日（土）の講習内容】

コラージュとはフランス語で「糊で貼る」を意味する言葉です。

20世紀のはじめ（キュビズム時代のパブロ・ピカソ、ジョルジュ・ブラックの時代）に生まれた美術の表現方法で、主観的構成の意図を持たない「意想外の組み合わせ」としてのコラージュは1919年にマックス・エルンストが発案したといわれています。

絵の具以外のさまざまな素材（新聞や壁紙、雑誌の切り抜き、木の葉、布、針金…など）を組み合わせ、画用紙やケント紙などの台紙に貼りつけて壁画のような造形作品をつくる芸術的な創作技法です。絵だけでは表現できない世界を作り上げることができます。

日本では1987年頃からアートセラピーとして使われ始めており、きわめて簡単な方法で自己表現が可能でその過程で人の心が癒される不思議な魅力をもった技法とされ多方面で使用されています。

《作製のポイント》

1. いろいろな素材を切り抜き、分解し、そして再構成します。
2. 台紙の白の余白は見えないほうが良いですが、意図的に白の効果を出すためならかまいません。
3. 現実的にあるはずのない世界を表現します。
4. 遠景、中景、近景をつけるとリアルに表現できます。
5. 生物を入れると画面に動きがでます。



昼食は、市民農園の施設で『バーベキュー』を予定しています。

(天候により変更の場合があります。あらかじめご了承ください)

(写真は、5月18日の昼食の様子です)

